

ART MEETS ARCHITECTURE
COMPETITION 2001-2021

AAC POSTER COMPETITION
2008-2013, 2020-2021

第21回
学生立体アートコンペティション

AAC 2021

AAC
ART MEETS
ARCHITECTURE
COMPETITION



ご挨拶

アート・ミーツ・アーキテクチャー・コンペティション（AAC）は、2001年に始まった当社主催の学生限定立体アートコンペです。

当社では、居住者にゆとりと遊びの空間を提供するため、自社開発したすべてのマンションのエントランスホールに彫刻や絵画などの芸術作品を展示して、ミニ美術館のような空間を創っています。その活動の中で、毎年何百人も芸大を受験し、その中から数十人が入学して、大学院へ十数名ほどが進んでも、卒業後も彫刻を続ける学生が1人いるかいけないかという現実を知りました。そこで、当社の活動を学生が知ることで、毎年数千棟と建つマンションのエントランスホールに彫刻を置くチャンスがあることに気付いて欲しいと思ったことから、AACを開始しました。

AACでは、最優秀賞を受賞した学生の作品が実際にマンションのエントランスホールに常設展示されます。自分の作品が公共の場所に設置されたという実績が、学生に対し卒業後プロとして活動していくうえでの自信につながり、活躍の場を広げるきっかけになればと考えています。

また、AACは公益社団法人企業メセナ協議会が主催する、企業が取り組むメセナ（芸術・文化振興による社会創造）活動を表彰する「メセナアワード2017」において優秀賞を受賞いたしました。私はこの活動が世の中の役に立ち、また、社会的な評価もいただいたことを大変うれしく思っております。

当社では、今後もこのコンペを継続することにより、若手芸術家の発掘、支援、育成に努めてまいりますので、皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社アーバネットコーポレーション
代表取締役社長
服部 信治



Sculpture

立 体 アー ト 部 門

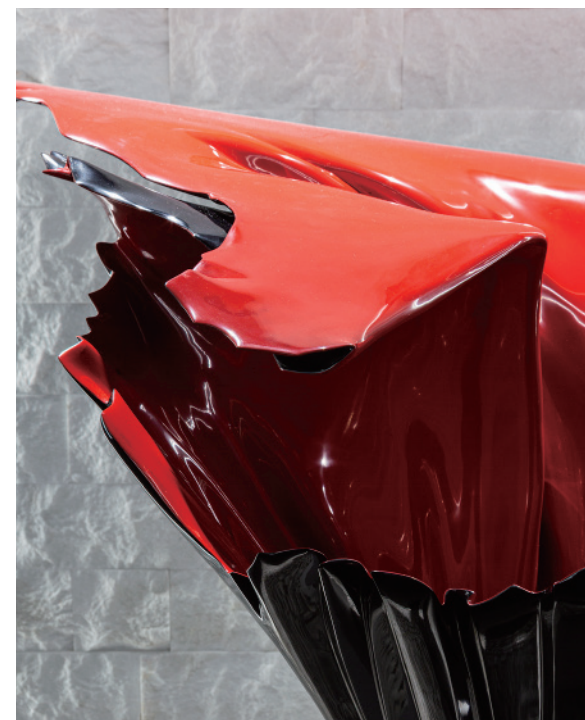
最優秀賞

「Power of Flower」

隼 楠 (ウェイ ナン)
京都市立芸術大学大学院
美術研究科 漆工領域



素材：漆、鹿革、麻布 幅800×奥行800×高さ850mm





[作品コンセプト]

私は革を漆で固めることにより造形する漆皮技法という飛鳥時代から使われているやり方で、革素材の特徴である伸縮性を活かした漆制作を展開しています。革を用いた制作過程の中で、偶発的な形と出会い、その自由な形と美しい曲面を漆で留めることにより、自然の造形のような生命力のある豊かな形が創造できます。本作品は一見すると花が咲いたような形にも見え、底から生じた繊細な皺は上にいくほど大きく広がっています。色は外側に黒漆、内側に赤漆を塗り、磨き上げることにより鏡面に仕上げました。赤は人に自信や勇気を持たせ、ストレス解消にも効果があると言われています。この漆の花からエネルギーを受け取ってもらい、少しでも居住者の一日の疲れを癒す存在となることを願っています。

この度は、最優秀賞を頂き、大変光栄に思っております。誠にありがとうございました。今回の作品は、革を用いて漆制作を展開して以来、初めて挑戦した大きなサイズのものでしたが、審査員の方々に高い評価をいただいたことは本当に嬉しく思っています。今回最優秀賞を頂いたことはこれからの制作活動、そして人生の中でも重要なスタートになりました。今後の制作活動の糧にしていきたいと思っています。

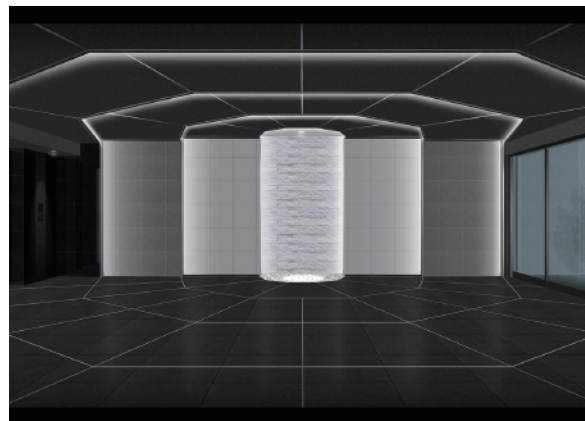


[作品設置場所]

ステージグランデとさわ台アジュールコート
構造・規模：鉄筋コンクリート造 9階
総戸数：74戸
竣工年：2021年



ステージグランデとさわ台アジュールコート 外観



エントランスホール

審査風景

[一次審査]

氏名、性別、学校、受賞歴などのプロフィールは、完全に伏せた状態で書類審査を行う。最終審査に進む3作品と、入選数作品を選出する。



[最終審査]

実際に展示されるエントランスホールに作品を持ち込み、仮設置し、作者によるプレゼンテーションを行う。プレゼンテーション終了後、最優秀賞を決定する。



優秀賞

「さんすいの間」

袁 方洲（エン ホウシュウ）
東京藝術大学大学院
美術研究科 工芸専攻



素材：ガラス 幅320×奥行320×高さ530mm

〔作品コンセプト〕

この作品は「山水」をモチーフとし、ガラスの透明性と不透明性を用いて表現しています。山のような形をした造形はどこか懐かしさ感じさせ、落ち着きを与えます。ガラスの透明感は澄んだ川のように美しく、水を彫刻したかのように感じさせ、不透明さは山の木々が生い茂るイメージで優しくマットな質感となっています。ガラス素材であるからこそ、透明と不透明の美しい調和を生み出すことができました。光の当たり方によって、反射や屈折する光が美しく、毎回違う輝きを見せるのもガラスの魅力です。この作品が家紋のように、マンションのエントランスホールに入ってきた人たちに、帰ってきた安心感や安らぎを与えるようなシンボルになればと思っています。

今回は初めてマンションのエントランスホールという特別な空間のために作品を制作しました。制作の途中にはさまざまな困難がありましたが、それを乗り越えて、作品を完成させることができました。完成した作品は自身の作風を活かしつつ、表現したいものになったと思っています。今後も、自身のガラス作品が公共空間で展示される機会をもっと増やすことができるよう、今回得た経験を生かして制作活動を頑張っていきたいと思っています。



優秀賞

「蜃気回層」

山口 聡士
東京工業大学大学院
環境・社会理工学院 建築学系建築学コース



素材：アクリル、アルミ 幅410×奥行372×高さ466mm

〔作品コンセプト〕

人は把握できないものに惹かれ、「それ」を理解した時に興味を失うことがあります。マンションのエントランスという人が往来する空間において、把握されることなく、見る人に新鮮な感情を与え続ける蜃気楼のようなオブジェ「蜃気回層」を提案しました。三角形と円という簡単な形を、僅かに回転させながら積層させることによって形成されるこのオブジェは、上下左右に動く視線に対応し、有機的に形態を変化させます。また、台座に落ちる影や、立面からは想像のつかない上から覗き込んだ時のシルエットは、どこか奇妙で美しく、エントランスを行き来する人々を魅了するのではないのでしょうか。

この度は、栄誉ある賞を頂き、誠にありがとうございます。イメージを形に変えることの難しさを改めて痛感しました。同年代で創作活動をしている方々と話せたことも大変刺激になりました。本当にとても貴重な体験をさせて頂き、感謝申し上げます。



「ripple」	「時つ風」	「coral reef」
唐 诗琪（トウ シキ）	畠中 沙和	今井 玲奈
広島市立大学大学院 芸術学研究科 彫刻専攻	広島市立大学 芸術学部 彫刻専攻 3年	近畿大学 文芸学部 造形芸術専攻 4年
「青の夜明け」	「THE SUN SETS」	
渡辺 紫音	並木 久矩	
大阪芸術大学大学院 芸術研究科 ガラス工芸コース	愛知県立芸術大学 美術学部 美術専攻 研究生	
「泳」	「刻」	
永岡 佳栄	大野 裕和	
近畿大学 文芸学部 造形芸術専攻 4年	京都芸術大学 美術工芸学科 総合造形コース 4年	

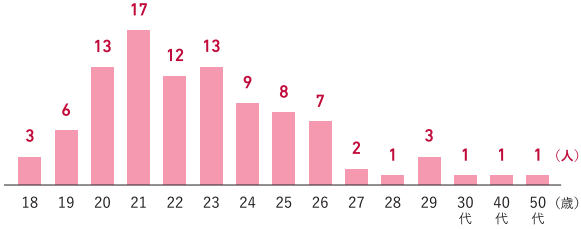
応募者集計結果

応募総数 107 作品（2020年度：82作品／2019年度：71作品）

応募者数 97 名（2020年度：72名／2019年度：61名）

平均年齢 23.1 歳（2020年度：24.0歳／2019年度：24.3歳）

年齢



学校

広島市立大学	9	東京造形大学	3	女子美術大学	1
多摩美術大学	9	専門学校桑沢デザイン研究所	3	信州大学	1
日本大学	8	HAL名古屋	2	千葉県立沼南高柳高等学校	1
愛知県立芸術大学	6	東京大学	2	千葉大学	1
東京藝術大学	6	長岡造形大学	2	浅野工学専門学校	1
武蔵野美術大学	5	HAL東京	1	倉敷芸術科学大学	1
京都市立芸術大学	4	ICS College of Arts	1	早稲田大学	1
近畿大学	4	ヒコみづのジュエリーカレッジ	1	大分県立芸術文化短期大学	1
京都芸術大学	3	関西学院大学	1	東北芸術工科大学	1
札幌市立大学	3	桐生大学短期大学部	1	富山市立富山ガラス造形研究所	1
大阪芸術大学	3	金沢美術工芸大学	1	放送大学	1
筑波大学	3	九州産業大学	1		
東京工業大学	3	修成建設専門学校	1		

都道府県

東京都	22	兵庫県	2
神奈川県	13	群馬県	1
広島県	9	岡山県	1
大阪府	8	石川県	1
千葉県	8	大分県	1
愛知県	8	山形県	1
茨城県	7	長野県	1
京都府	4	富山県	1
北海道	3	福岡県	1
新潟県	2	奈良県	1
埼玉県	2		

審査員

審査員長



Photo:Kai Maetani

青木 淳
Jun AOKI
建築家／京都市美術館館長

1956年横浜生まれ。東京大学建築学専攻修士課程修了。91年に青木淳建築計画事務所（現在は、ASIに改組）設立。個人住宅を始め、《青森県立美術館》《杉並区大宮前体育館》に代表される公共建築、ルイ・ヴィトン等の商業施設など、作品は多岐に渡る。99年に日本建築学会作品賞、2004年に芸術選奨文部科学大臣新人賞、2020年に毎日芸術賞、2021年にJIA日本建築大賞を受賞。著書に『フラジャイル・コンセプト』（建築・都市レビュー叢書 / NTT 出版）、『JUN AOKI COMPLETE WORKS』（1・2・3巻 / LIXL出版）、『原っぱと遊園地』（1・2巻 / 王国社）、『青木淳 ノートブック』（平凡社）、編著に『建築文学傑作選』（講談社文芸文庫）など。東京藝術大学建築科教授。



Photo:Takahiro Tsushima

荒神 明香／南川 憲二
Haruka KOJIN／
Kenji MINAMIGAWA
現代アートチーム 目[mé]

果てしなく不確かな現実世界を、私たちの実感に引き寄せようとする作品を展開している。手法やジャンルにはこだわらず、展示空間や観客を含めた状況、導線を重視。創作方法は、現在の中心メンバー（アーティスト荒神明香、ディレクター南川憲二、インストーラー増井宏文）の個々の特徴を活かしたチーム・クリエイションに取り組み、発想、判断、実現における連携の精度や、精神的な創作意識の共有を高める関係を模索しながら活動している。主な活動に、たよりない現実、この世界の在りか／資生堂ギャラリー（東京）、おじさんの顔が空に浮かぶ日／宇都宮美術館 館外プロジェクト（栃木）、奥行きの近く／目 In Beppu（大分）、非常にはっきりとわからない／千葉市美術館（千葉）など。

総評

青木淳——AACには、約15年前にも審査員として参加させていただきました。今回も、学生が作品の設置される町のことをよく頭に入れ、その場所にどうい

作品が置かれるマンションは、環七と川越街道の立体交差点の側という、かなりハードな環境にあり、作品にはそれに負けず、その環境に拮抗する力が必要だと、今日、現地で感じたのですが、隼さんの作品は、他の2作品と比べてかなり大きく、そこから外に向かって放たれ、流れ出る力を感じさせ、そんな期待に十分に応えられていました。建物に入る前、ガラス越しに見えるところから始まって、エントランスに入って通り過ぎ、エレベータ前に至るまで、この作品は姿を大きく変え、その変化も楽しく、ここに住む人々に元気を与えてくれること

そうしたところから、この街のなかに、この建築のこの場所に置かれるべき作品として、隼さんの作品がもっともふさわしいと、審査員一同、一致した意見であり、満場一致で最優秀賞に決定いたしました。



小山 登美夫
Tomio KOYAMA
小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役社長／日本現代美術商協会（CADAN）代表理事

1963年東京生まれ。1987年東京芸術大学芸術学科卒業。1996年に小山登美夫ギャラリーをオープン。国内外のアーティストを展示。海外のアートフェアへも積極的に参加し、日本のアーティストを世界に紹介。一方、国内でのアートマーケットの充実と拡大を模索する。

一貫してマンションの設計に携わる中で、コンパクト性や機能性に偏り過ぎた日本のマンションに、もっと文化的な要素を取り入れたいと思い立ち、自社で開発したマンションのエントランスにアートを取り入れるようになった。



服部 信治
Shinji HATTORI
主催会社 代表取締役社長

1950年福岡県生まれ。一級建築士。大学卒業後、主にマンションの設計・企画・コンサルに携わる。1997年にマンション設計・企画を中心とした株式会社アーバネットコーポレーションを設立。2000年から投資用マンションの開発・1棟販売事業を開始し、その後、ファミリーマンションや戸建ての開発・販売等、事業を拡大。2007年に自社の株式をジャスダック証券取引所に上場させた。

荒神明香——全体として、超えられなかった技術や、難しかったという点が多々あると思います。

今回、実践的なクオリティーを問われるコンペということで、思い通りにならなかった点があったのではないのでしょうか。私は本質的に何をしたいか、何が見たいか、ということがとても大事なことであり、それぞれが持っている価値だと思いますので、その価値を大事にして、今後も飛躍して作品を作って欲しいと思っています。

南川憲二——AACは、展示におけるレギュレーションの部分はどう捉えるかというところがとても特徴的で重要なコンペではないかと思いました。今日は初めに設置場所となるワンルームマンションの部屋等を見学させて頂きましたが、空間を最大限に生かした収納スペース等を拝見して、限られた中に可能性があるということがどういうことなのかということを示されている気がしました。

私は、かれこれ20年ぐらいのもののづくりに関わっていますが、イメージを頭の中から外に出す際にはそこにレギュレーションが付きものです。限られた範囲の中にこそある自由というものを、学生の皆さんがどのように獲得していくかということ、そしてその中にこれだけの可能性があるということを感じさせられたコンペでした。

小山登美夫——私は、過去5回、このコンペティションの審査をやらせていただいており、学生の皆さんが実際に物を作って、マンションの実際の空間に置くというリアルな現場を長年見ております。作品の設置場所に対して、学生の考えたことが実際の作品になっていると思いますが、その答えがそれぞれ違っていておもしろいと思っています。

T MEETS ARCHITECTURE COMPETITION 2021

株式会社アーバネットコーポレーション

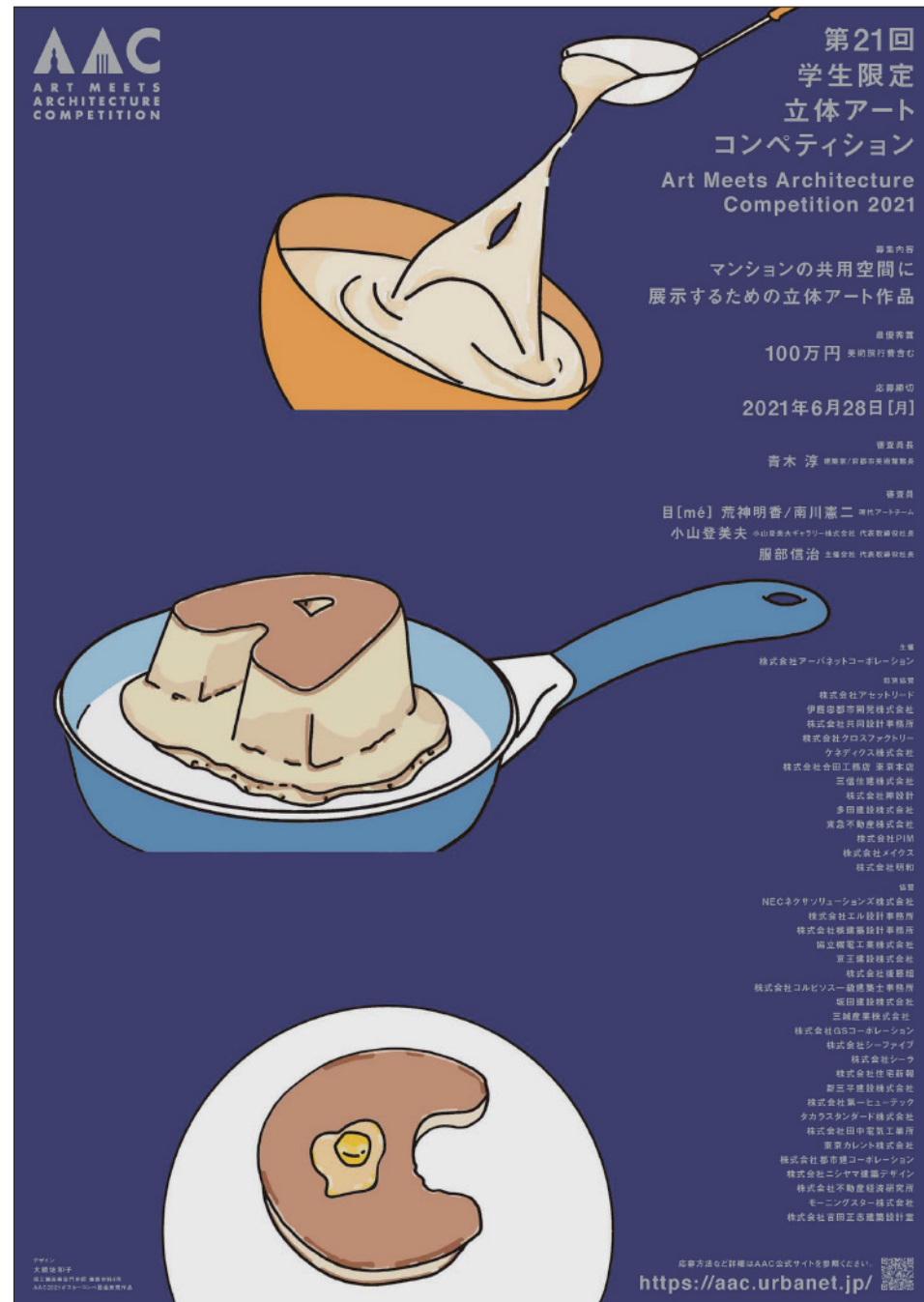


Poster ポスター部門

最優秀賞

「get bigger」

大橋 佐和子
呉工業高等専門学校
建築学科 4年



応募時の作品

この度は素敵な賞をいただきありがとうございます。

このようなポスターを描くことは初めてでしたが、とても楽しく取り組むことができました。分からないこともありましたが、アドバイスをいただいたり、丁寧に説明していただいたりする中で、新しく学ぶことができました。

ホットケーキの生地が混ざった時やふくらんだ時の立体感をイラストで表現しました。日常の様々なところにある立体感からひらめきを得て、自由に素晴らしい作品が生まれるといいなと思います。



入選

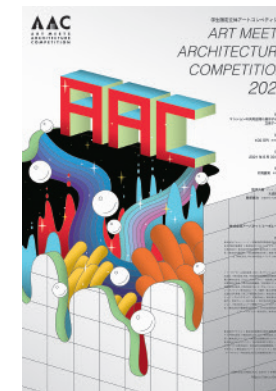
「GIFT-美しさを創る-」

北村 圭祐
北海学園大学
経営学部 経営学科 2年



「Blooming」

CHO YUNJOO (ジョ・ユンジュ)
東京デザイナー学院
グラフィックデザイン学科 2年



「身の回りの風景」

関根 康成／小林 隼人
法政大学
デザイン工学部建築学科 4年



「街を歩く」

小林 颯汰
新潟大学大学院
自然科学研究科 環境科学専攻



「表現者」

丹羽 祐里加
あいち造形デザイン専門学校
デザイン学科グラフィック・広告コース 1年



「Architecture awaits Art」

畔上 陽一
埼玉県立伊奈学園総合高等学校
普通科人文系 3年



審査員

審査員長



古平 正義
Masayoshi KODAIRA
アートディレクター／デザイナー



ナカムラクニオ
Kunio NAKAMURA
「6次元」主宰／映像ディレクター



服部 信治
Shinji HATTORI
主催会社 代表取締役社長

1970年大阪生まれ。1997年よりフリーランス、2001年FLAME設立。主な仕事に、横浜美術館・水戸芸術館・原美術館・21_21 DESIGN SIGHT・アートフェア東京などのポスターや、ラフォーレ原宿の広告・CM、BAO BAO ISSEY MIYAKE とのコラボレーション他。映像や建築のサイン計画や展覧会の会場構成も手がけている。FLAME代表・大阪芸術大学客員教授。

1971年東京都目黒区生まれ。荻窪「6次元」主宰、映像ディレクター。日比谷高校在学中から絵画の発表をはじめ、17歳で初個展。現代美術の作家としても活動し、山形ビエンナーレ等に参加。また映像ディレクターとしてNHK WORLDで日本の文化を海外に伝える番組などを多数演出。著書は『人が集まる「つなぎ場」のつくり方』(CCCメディアハウス)、『金継ぎ手帖』『古美術手帖』『チャートで読み解く美術史入門』『モチーフで読み解く美術史入門』『描いてわかる西洋絵画の教科書』(玄光社)、『洋画家の美術史』(光文社)など。

1950年福岡県生まれ。一級建築士。大学卒業後、主にマンションの設計・企画・コンサルに携わる。1997年にマンション設計・企画を中心とした株式会社アーバネットコーポレーションを設立。2000年から投資用マンションの開発・1棟販売事業を開始し、その後、ファミリーマンションや戸建ての開発・販売等、事業を拡大。2007年に自社の株式をジャスダック証券取引所に上場させた。一貫してマンションの設計に携わる中で、コンパクト性や機能性に偏り過ぎた日本のマンションに、もっと文化的な要素を取り入れたいと思い立ち、自社で開発したマンションのエントランスにアートを取り入れるようになった。

【総評】

古平正義——審査全体を通して、「どんな人がつくったんだろう?」と考えてしまう様な作品に惹かれました。

最優秀賞・大橋さんの作品は、シンプルなアイデアですが、味わいのある軽やかなイラストレーションが大らかにデザインされていて、何度も見返してしまう魅力を持った作品だと思います。色づかいも独特で完成されていて、イラストに関してはブラッシュアップの際もほぼ手を加える必要を感じませんでした。

誰でも多くの情報が簡単に手に入るようになった分、ひとと似たものをつくってしまいがちですが、やはり個人の意思や趣味嗜好が反映されたものが強いと、あらためて思い知らされました。

ナカムラクニオ——名も無き芸術は「美とは何であるか」を誰よりもよく知っている。だから何よりも美しい。デザインコンペの審査を通じて、そんなことを感じました。学生の作った作品は、かなり粗削りです。しかし、だからこそ伝わる強いメッセージや感動があると思います。全体的に現代の空気がヒシヒシ感じられて、とても興味深い審査でした。

審査風景・表彰式



HISTORY OF AAC 2001-2020 | 2001-2012

今までの最優秀賞作品を全てご紹介いたします。

2001



高橋桃 | 牛I



伴翼 | akka

2002



藤本明洋 | 目に見える偶然



2007



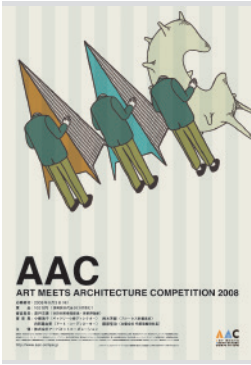
岩田秀和 | Balance - from a division body -



2008



小椋聡子 | ゆるやかなときのながれのなかで

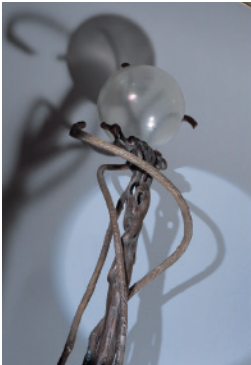


佐野夏記 | (作品タイトルなし)

2003



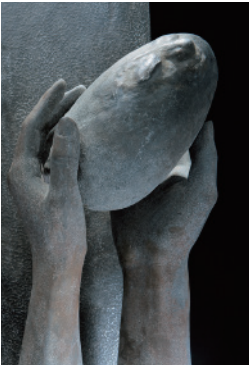
柳原絵夢 | monk's habit



2004



青柳慎 | Family's scenery



2009



八木貴史 | 天上の虹



村岡あさこ | 手に豆が出来る程

2010



宮原高広 | A.S.series 「第二の扉」



増川友梨・齋藤菜月 | HOUSE AAC

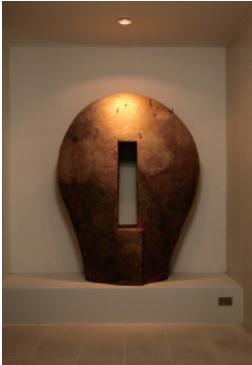
2005



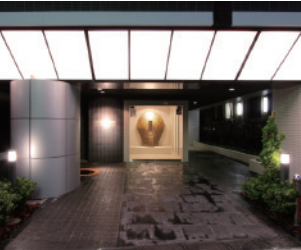
武藤亜希子 | その木が生える場所



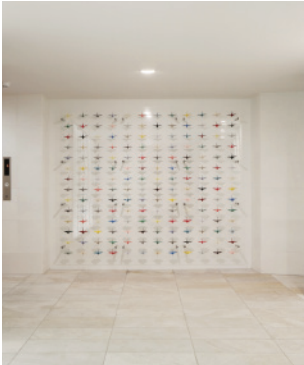
2006



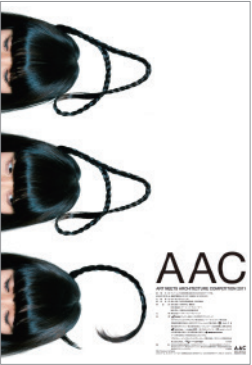
堀園実 | 息を止めてきこえるリズム



2011



堀康史 | HOPE



藤平奈央子 | 平面から立体へ

2012

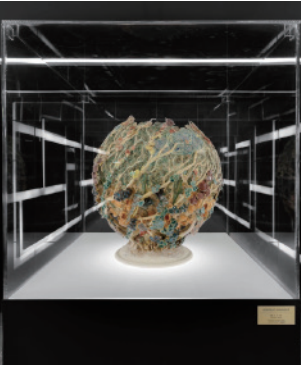


帆足枝里子 | 景



戸塚香里 | あたらしい鏡

2013



村上仁美 | eternal moment



関谷大志朗 | なにをみる。

2014



井田大介 | UNTITLED



2019



白谷琢磨 | the city



2020



勝川夏樹 | Microcosm



藤田理紗子 | 空間に産む

2015



渡辺志桜里 | ひとつのうみ



2016



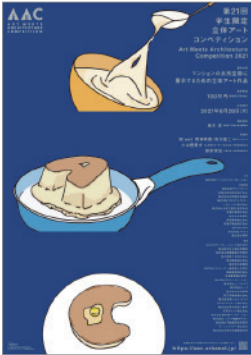
古川千夏 | GEMME



2021



魄楠 | Power of Flower



大橋佐和子 | get bigger

2017



金俊来 | Waterfall



2018



雷康寧 | Be water my friend



2001年からスタートしたAACは、2021年で21回目の開催となりました。
手探りでスタートした第1回目の応募数は、4作品。
その中から立体作品1点、レリーフ作品1点が最優秀賞に選ばれました。
アート界で活躍されている多くの方々が審査にご協力くださり、
少しずつですが応募数も増え、毎年全国から多彩な作品が寄せられています。

今後もこのコンペを継続することにより、
若手芸術家の発掘・支援・育成に努めてまいります。

HISTORY OF AAC 2001-2021 | DATA

2001	最優秀賞	高橋桃 牛 東京造形大学大学院 彫刻専攻 修士 2年
	優秀賞	伴翼 akka 東京造形大学 彫刻学科 4年
	審査員	大成哲 いち 日本大学 芸術学部 彫刻学科 3年
		山口史貴 東京造形大学
		高岡典男 彫刻家
		古賀賢治 アートディレクター／株式会社CYA 代表取締役社長
		櫻庭春来 画家
		服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	ステージファースト用賀アジュールコート（東京都 世田谷区）

2002	最優秀賞	藤本明洋 目に見える偶然 明星大学大学院 木材造形 修士1年
	優秀賞	三神慎一朗 彼女は見ている、彼女の世界観 東京藝術大学 工芸科 銀金 3年
		森園雅明 slow life 日本大学 彫刻専攻 3年
	審査員	金澤毅 美術評論家／成安造形大学名誉教授／元 原美術館館長
		加藤陽之 STUDIO VOICE編集長
		高岡典男 彫刻家
		古賀賢治 アートディレクター／株式会社CYA 代表取締役社長
		服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	パテラ百合ヶ丘グランアジュール（神奈川県 川崎市）

2003	最優秀賞	柳原絵夢 monk's habit 東京藝術大学大学院 彫刻科 修士 2年
	優秀賞	青柳慎 見知らぬワタシ 京都造形芸術大学大学院 修士 1年
		安部公房 無題 武蔵野美術大学大学院 彫刻 修士2年
		森貴也 ここから・・・ 大分大学大学院
	審査員	金澤毅 美術評論家／成安造形大学名誉教授／元 原美術館館長
		正木基 美術評論家／目黒区美術館 学芸員
		加藤陽之 STUDIO VOICE編集長
		高岡典男 彫刻家
		古賀賢治 アートディレクター／株式会社CYA 代表取締役社長
		服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	ステージグランデ三軒茶屋アジュールコート（東京都 世田谷区）

2004	最優秀賞	青柳慎 Family's scenery 京都造形芸術大学大学院 芸術表現学科 修士 2年
	優秀賞	今井紫緒 組み立てられた時間 東京藝術大学大学院 彫刻専攻 修士 2年
		本田祐介 a part 東北芸術工科大学 美術科 工芸 金属 3年
	審査員	金澤毅 美術評論家／成安造形大学名誉教授／元 原美術館館長
		高岡典男 彫刻家
		古賀賢治 アートディレクター／株式会社CYA 代表取締役社長
		清水敏男 美術評論家／学習院女子大学教授
		加藤陽之 STUDIO VOICE編集長
		服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	ステージファースト三軒茶屋アジュールコートII（東京都 世田谷区）

2005	最優秀賞	武藤亜希子 その木が生える場所 東京藝術大学大学院 絵画科 油画専攻 博士 3年
	優秀賞	佐脇遥 Tom Cat 2005 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ アートジュエリー 2年
		向川未桜 杜の子 北海道教育大学 芸術文化課程 美術 1年
		柳公絵 成長 長岡造形大学 工芸デザイン 3年
	審査員	岡部あおみ 美術評論家／武蔵野美術大学教授
		保科豊巳 現代美術家／東京藝術大学助教授
		広本信幸 @ギャラリータグポート 担当ディレクター
		真壁佳織 美術ジャーナリスト
		服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	ステージファースト田園調布アジュールコート（東京都 世田谷区）

2006	最優秀賞	堀園実 息を止めてきこえるリズム 沖縄県立芸術大学 美術工芸学部 彫刻専攻 4年
	優秀賞	北川太郎 時空ピラミッド 愛知県立芸術大学大学院 彫刻 修士 2年
		武末裕子 membran 東京藝術大学大学院 美術研究科 彫刻専攻 修士 2年
	審査員	青木淳 建築家
		宮村周子 編集者／ライター
		小山登美夫 小山登美夫ギャラリーオーナー
		服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	ステージファースト板橋仲宿アジュールコート（東京都 板橋区）

2007	最優秀賞	岩田秀和 Balance - from a division body - 東京藝術大学大学院 美術研究科 彫刻専攻 研究生
	審査員特別賞・優秀賞	小泉悟 経過する時間 沖縄県立芸術大学大学院 造形芸術研究科 環境造形専攻 彫刻専攻 修士 1年
	優秀賞	井川彩子 ゆるり 東京藝術大学大学院 美術研究科 ガラス造形専攻 修士 2年
	審査員	南條史生 森美術館館長
		西沢立衛 建築家／ライター
		佐谷周吾 ギャラリスト／シュウゴアーツ代表
		児島やよい キュレーター／コーディネーター／ライター
		服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	ステージファースト両国南アジュールコート（東京都 墨田区）

2008	最優秀賞	小椋聡子 ゆるやかなときのながれのなかで 東京藝術大学大学院 美術研究科 博士後期課程 研究領域 工芸 銀金
	優秀賞	三上賢治 Wall 広島市立大学大学院 芸術学研究科 総合造形芸術 博士後期課程 1年
		奥村太郎 ときのなみ 京都市立芸術大学大学院 美術研究科 彫刻 修士 1年
	審査員	酒井忠康 世田谷美術館館長／美術評論家
		小柳敦子 ギャラリー小柳ディレクター
		鈴木芳雄 マガジンハウス ブルータス 副編集長
		内田真由美 アート・コーディネーター
		服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	アジュールコート荻窪（東京都 杉並区）

	[ポスター部門]
最優秀賞	佐野夏記 静岡文化芸術大学 デザイン学部 生産造形学科
審査員特別賞	早川裕子 武蔵野美術大学 造形学部 視覚伝達デザイン学科
審査員	鈴木芳雄 マガジンハウス ブルータス 副編集長
	菊地敦己 Bluemarkアートディレクター
	服部信治 主催会社 代表取締役社長

2009	最優秀賞	八木貴史 天上の虹 武蔵野美術大学大学院 造形研究科 美術専攻 彫刻コース
	優秀賞	片井彩霞 うずくまる 九州産業大学大学院 芸術学部 芸術専攻科
		本郷芳哉 立つこと 東京藝術大学 美術学部 彫刻科 研究生
	審査員	小池一子 クリエイティブディレクター
		堀元彰 東京オペラシティアートギャラリー・チーフキュレーター
		白石正美 白石コンテンポラリーアート代表
		北澤ひろみ キュレーター
		服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	アジュールコート武蔵小杉（神奈川県 川崎市）

	[ポスター部門]
最優秀賞	村岡あさこ 手に豆が出来る程 多摩美術大学 美術学部 グラフィックデザイン学科 3年
審査員	えぐちりか アーティスト／アートディレクター
	北澤ひろみ キュレーター
	服部信治 主催会社 代表取締役社長

2010	最優秀賞	宮原嵩広 A.S.series「第二の扉」 東京藝術大学大学院 美術学部 彫刻科
	優秀賞	堀康史 セルメン 多摩美術大学 美術学部 油画専攻 3年
		小野真由 彩 多摩美術大学 美術学部 工芸学科 陶プログラム 3年
	審査員	新見隆 デザイン・美術評論家／キュレーター
		植松奎二 芸術家
		千葉由美子 ユミコチバアソシエイツ代表
		服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	AXAS森下sta.（東京都 江東区）

	[ポスター部門]
最優秀賞	増川友梨・齋藤菜月 HOUSE AAC 女子美術大学 芸術学部 デザイン学科 4年
審査員	杉山ユキ 株式会社博報堂 アートディレクター
	服部信治 主催会社 代表取締役社長

2011	最優秀賞 優秀賞	堀康史 HOPE 多摩美術大学 美術学部 油画専攻 4年 帆足枝里子 土塊 女子美術大学大学院 美術研究科 美術専攻 修士課程 立体芸術 向川千世 時を紡いで 大阪教育大学大学院 教育学研究科 美術教育専攻
	審査員	酒井忠康 世田谷美術館館長／美術評論家 岩渕貞哉 月刊『美術手帖』編集長 内田真由美 アート・コーディネーター 服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	ステージファースト両国アジールコート（東京都 墨田区）
		[ポスター部門]
	最優秀賞 審査員	藤平奈央子 平面から立体へ 日本大学 芸術学部 デザイン学科 2年 帆足英里子 株式会社ライトバプリシティアートディレクター 服部信治 主催会社 代表取締役社長
2012	最優秀賞 優秀賞	帆足枝里子 景 女子美術大学大学院 美術研究科 美術専攻 修士課程 立体芸術 グループ名：金保／平山 ー 金保洋・平山里紗 結 金沢美術工芸大学 美術工芸学部 工芸専攻 2年 山口恵美 catena 佐賀大学大学院 教育学研究科 教科教育専攻 修士2年
	審査員	南條史生 森美術館館長 広本伸幸 実践美学者 児島やよい キュレーター／コーディネーター／ライター 服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	AXAS上野北（東京都 台東区）
		[ポスター部門]
	最優秀賞 審査員	戸塚香里 あたらしい鏡 武蔵野美術大学 造形学部 視覚伝達デザイン学科 3年 長嶋りかこ 博報堂 アートディレクター／デザイナー 服部信治 主催会社 代表取締役社長
2013	最優秀賞 優秀賞	村上仁美 eternal moment 愛知県立芸術大学大学院 美術研究科 彫刻領域 大野晴美 Human sign 女子美術大学大学院 美術研究科 美術専攻 立体芸術研究領域 安達淳 表出 武蔵野美術大学大学院 造形研究科 デザイン専攻 建築コース
	審査員	土屋公雄 彫刻家／愛知県立芸術大学教授 小山登美夫 小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役社長 宮村周子 編集者／ライター 服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	ステージグランデ蒲田アジールコート（東京都 大田区）
		[ポスター部門]
	最優秀賞 審査員	関谷大志朗 なにをみる。 関西大学大学院 理工学研究科 ソーシャルデザイン専攻 建築学分野 修士1年 高井薫 株式会社サン・アドアートディレクター 服部信治 主催会社 代表取締役社長
2014	最優秀賞 優秀賞	井田大介 UNTITLED 東京藝術大学大学院 美術研究科 彫刻専攻 穴井麻美 見つめる 多摩美術大学大学院 美術研究科 工芸専攻 グループ名：進藤・山崎・前原・横田 フォトンの日々 進藤篤 東京藝術大学大学院 美術研究科 デザイン専攻 山崎明史 日本大学大学院 芸術学研究科 造形芸術専攻 前原良平 日本大学 生産工学部 創生デザイン学科 3年 横田安紀 日本大学 生産工学部 創生デザイン学科 4年
	審査員	塩田純一 新潟市美術館館長／美術評論家 岩渕貞哉 月刊『美術手帖』編集長 森千花 東京都現代美術館 学芸員 服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	グランドコンシェルジュ新御徒町アジールコート（東京都 台東区）
2015	最優秀賞 優秀賞	渡辺志桜里 ひとつのうみ 東京藝術大学大学院 美術研究科 彫刻専攻 佐藤風太 気配 東京藝術大学 美術学部 彫刻専攻 3年 金俊来 日の出 京都市立芸術大学大学院 美術研究科 博士課程 漆工専攻
	審査員	清水敏男 TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE代表 鈴木芳雄 編集者／美術ジャーナリスト／愛知県立芸術大学客員教授 小山登美夫 小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役社長 服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	ステージグランデ清澄白河アジールコート（東京都 江東区）

2016	最優秀賞 優秀賞	古川千夏 GEMME 広島市立大学大学院 芸術学研究科 博士前期課程 造形芸術専攻 中尾俊祐 Corona 和歌山大学 システム工学部 デザイン情報学科 4年 堀田光彦 朝の輝き 東京藝術大学大学院 美術研究科 工芸専攻 鍔金研究分野 修士 1年
	審査員	秋元雄史 東京藝術大学大学美術館館長／金沢21世紀美術館館長 望月かおる 月刊『美術手帖』副編集長 内田真由美 アート・コーディネーター 服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	ステージファースト蔵前IIアジールコート（東京都 台東区）

2017	最優秀賞 優秀賞	金俊来 Waterfall 京都市立芸術大学大学院 美術研究科 博士課程 漆工専攻 後藤宙 Heterogen 東京藝術大学大学院 美術研究科 先端芸術表現専攻 土井彩香 Starting from white 東京藝術大学大学院 美術研究科 彫刻専攻
	審査員	堀元彰 東京オペラシティアートギャラリーチーフ・キュレーター 三沢厚彦 彫刻家 小山登美夫 小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役社長 服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	AXAS代々木八幡アジールコート（東京都 渋谷区）

2018	最優秀賞 優秀賞	雷康寧 Be water my friend 東京藝術大学大学院 美術研究科 彫刻専攻 佐野圭亮 現の秤 東京藝術大学大学院 美術研究科 工芸専攻 堀田光彦 精神の美 東京藝術大学大学院 美術研究科 工芸専攻 鍔金研究分野 研究生
	審査員	馬淵明子 国立西洋美術館館長 ヤノベケンジ 現代芸術作家 内田真由美 アート・コーディネーター 服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	ステージファースト両国IIアジールコート（東京都 墨田区）

2019	最優秀賞 優秀賞	白谷琢磨 the city 東京藝術大学大学院 美術研究科 彫刻専攻 番原耕一郎 Neighbor 広島市立大学大学院 芸術学研究科 総合造形芸術専攻 五十嵐亮太 半分の阿吽 東京藝術大学大学院 美術研究科 デザイン専攻
	審査員	藤森照信 建築家／建築史家／東京都江戸東京博物館館長 橋本麻里 ライター／エディター／公益財団法人永青文庫副館長 小山登美夫 小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役社長 服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	アジールコート台東根岸（東京都 台東区）

2020	最優秀賞 優秀賞	勝川夏樹 Microcosm 東京藝術大学大学院 美術研究科 美術専攻 グループ名：hamuhamu ー 早坂雅寿・堀真代 ひとときひととき 京都市立大学 システムデザイン学部 システムデザイン学科 インダストリアルアートコース 4年
	審査員	山崎稚子 むれやなぎ 文化服装学院 服飾専門課程 服飾研究科 1年 片岡真実 森美術館 館長 宮津大輔 アート・コレクター／横浜美術大学 学長 大成哲 彫刻家／第1回AAC優秀賞受賞 服部信治 主催会社 代表取締役社長
	設置場所	メイクス新中野アジールコート（東京都 中野区）

		[ポスター部門]
	最優秀賞 審査員	藤田理紗子 空間に産む 女子美術大学 芸術学部 デザイン・工芸学科 ヴィジュアルデザイン専攻 2年 森井ユカ 立体造形家／雑貨コレクター 古平正義 アートディレクター／デザイナー 服部信治 主催会社 代表取締役社長

2021	最優秀賞	隼楠 Power of Flower 京都市立芸術大学大学院 美術研究科 漆工領域
	優秀賞	袁方洲 さんすいの間 東京藝術大学大学院 美術研究科 工芸専攻
	審査員	山口聡士 蜃気回層 東京工業大学大学院 環境・社会理工学院 建築学系建築学コース 青木淳 建築家／京都市美術館館長 荒神明香／南川憲二 現代アートチーム 目[mé] 小山登美夫 小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役社長／日本現代美術商協会（CADAN）代表理事 服部信治 主催会社 代表取締役社長
設置場所		
ステージグランデときわ台アジールコート（東京都 板橋区）		
[ポスター部門]		
最優秀賞	大橋佐和子 get bigger 呉工業高等専門学校 建築学科 4年	
審査員	古平正義	アートディレクター／デザイナー
	ナカムラクニオ	「6次元」主宰／映像ディレクター
	服部信治	主催会社 代表取締役社長

AAC2021 立体アートコンペティション概要

募集期間	2021年4月23日～6月28日
募集内容	設置場所の空間を生かした立体アート作品
条件	1. 未発表のオリジナル作品 2. 展示場所にアンカー等で固定できる形状 3. マンションの入居者にとって安全で心地よさを感じさせる作品 4. 電源の供給を必要とする作品は不可
設置場所	「ステージグランデときわ台アジールコート」（東京都板橋区）のエントランスホール
素材	石・鉄・FRP 等、長期展示に耐えうる材質
作品サイズ	幅1,400×奥行900×高さ2,400mmに収まるもの／台座置き重量約100kg以下／壁付け約50kg以下
応募資格	全国の大学・大学院・短期大学・専門学校・高校等で、 美術・芸術・デザイン・建築・空間演出等を学んでいる学生（グループ可）
応募点数	複数応募可
賞	最優秀賞（1点）…… 賞金総額100万円（美術旅行費を含む）／作品は作者名(グループ名)の入ったプレートと共にマンションに常設設置 優秀賞（2点以上）…… 賞金20万円 入選（数点）…………… 賞金5万円
制作補助金	一次審査を通過した入賞作品（3点以上）には制作補助金として20万円+搬出入費を支給 ※遠方者の交通費・宿泊費も別途支給
協賛企業 ※50音順	特別協賛 株式会社アセットリード／伊藤忠都市開発株式会社／株式会社共同設計事務所／ 株式会社クロスファクトリー／ケネディクス株式会社／株式会社合田工務店 東京本店／ 三信住建株式会社／株式会社陣設計／多田建設株式会社／東急不動産株式会社／ 株式会社PIM／株式会社メイクス／株式会社明和 協賛 NECネクサソリューションズ株式会社／株式会社エル設計事務所／ 株式会社核建築設計事務所／協立機電工業株式会社／ 京王建設株式会社／株式会社後藤組／株式会社コルピンスー級建築士事務所／ 坂田建設株式会社／三誠産業株式会社／株式会社GSコーポレーション／株式会社シーファイブ／ 株式会社シーラ／株式会社住宅新報／新三平建設株式会社／ 株式会社第一ヒューテック／タカラスタンダード株式会社／株式会社田中電気工業所／ 東京カレント株式会社／株式会社都市建コーポレーション／株式会社ニシヤマ建築デザイン／ 株式会社不動産経済研究所／モーニングスター株式会社／ 株式会社吉田正志建築設計室 賛助 株式会社アクロス／株式会社朝倉崇夫都市建築設計事務所／アイデア株式会社／株式会社ウミイチ／ 株式会社ギャバン／篠崎・進士法律事務所／株式会社スタイレックス／株式会社設計工房イー・ディー／ セブンランズ株式会社／株式会社地域環境開発／ナチュラルデザイン／ラン株式会社

【発行日】 2022年1月28日 【発行所】 株式会社アーバネットコーポレーション 〒101-0062 東京都千代田区神田豊河台4-2-5 トライエッジ御茶ノ水13F TEL: 03-6630-3050 (代) 【デザイン】 YUKA DESIGN Co., Ltd.